

CHAPTER 7

環境および電源管理

Cisco 819 サービス統合型ルータは、環境温度のモニタリングおよび温度のロギングのため、30 秒ごとにルータ本体にセンサーが装備されています。ルータ シャーシの四隅に 4 つのセンサーがあります。 さらにシステム アンビエント センサーおよび 3G センサーがあります。

コーナー センサーは次のメッセージを表示します。

- コンソールへのエラー メッセージ:温度範囲が設定されている温度しきい値を外れると、モニタ にエラー メッセージを表示します。ルータの異なる SKU ごとに違う温度範囲が設定されています。
 - Cisco 819G (非強化): 0 ~ 60 °C
 - Cisco 819HG (強化): -25 ~ 75 °C
- SNMP トラップ: syslog メッセージは、温度が指定範囲外の場合に作成されます。
- サーバの「Call Home」機能:サーバの CallHome 機能は、非常に高温または低温になった場合に、Cisco TAC にすでに問い合わせできるようになっています。

コーナー センサーに加えて、システム周囲センサーと 3G センサーでも 30 秒おきに温度をブートフラッシュ メモリに記録されます。

温度が上限しきい値を超えたり、下限しきい値を下回ったりすると、温度情報が不揮発性メモリ領域に 保存され、この出力の一部として表示されます。

ルータの動作温度を確認するには、**show environment** コマンドを使用します。または最後に装置の電力使用量および電力消費量を表示するには、このコマンドを使用できます。

次に、show environment コマンドの出力例を示します。

router# show environment

SYSTEM WATTAGE

Board Power consumption is: 4.851 W

Power Supply Loss: 1.149 W

Total System Power consumption is: 6.000 W

REAL TIME CLOCK BATTERY STATUS

Battery OK (checked at power up)

TEMPERATURE STATUS

Sensor	Current		High/Low	
Name	Temperature	Status	Threshold	

Sensor 2	34	Normal	60/0
Sensor 3	40	Normal	60/0
Sensor 4	38	Normal	60/0
System Ambient Sensor	35	Normal	60/0
3G Modem Sensor	33	Normal	85/0

Environmental information last updated 00:00:26 ago



モデムの温度が、非強化バージョンの場合は 85 度まで、強化バージョンでは 90 度まで上がると、警告メッセージが表示されます。温度が 108 度を超えた場合、ルータは自動的にシャットダウンします。

Cisco EnergyWise サポート

Cisco 819 ISR には、電力消費を減らすためのハードウェアおよびソフトウェア機能があります。ハードウェア機能としては、高性能 AC 電源および RAM 選択やクロック ゲーティングなど、省電力機能を内蔵した電気部品があります。詳細については、『Cisco 819 Integrated Services Router Hardware Installation Guide』を参照してください。

ソフトウェア機能には、未使用のモジュールの電源を切り、ルータのモジュールおよび周辺機器への未使用のクロックをディセーブルにする電力効率管理機能である Cisco EnergyWise があります。

Cisco 819 ISR で EnergyWise をサポートするには、Cisco IOS Release 15.0(1)M 以降を実行している必要があります。

詳細な設定手順については、『Cisco EnergyWise Configuration Guide, EnergyWise Phase 1』および『Cisco EnergyWise Configuration Guide, EnergyWise Phase 2』を参照してください。